

月例新潟時局研究レポート

Vector21

Vector for 21st century of our Niigata Japan

取扱自由 拡散希望

発行；新潟時局研究所 発行人；水野孝吉
 住所；新潟市中央区西堀通四番町259-58 406号
 電話 025-223-2551 F A X 025-229-2778
 @-mail:vector21@ymail.plala.or.jp
 URL:http://www5.plala.or.jp/vector21/

年間定期購読料
 法人及び団体；30.000円 個人；10.000円
 随時購読は別途にて承ります。

*レポートに関して、別途詳細情報を御提供します。詳しくは当事務所迄お気軽に御連絡下さい。尚、投稿も受け付けて居ります。

ベクトルとは方向性と云う意味であり、21世紀において私達が進むべき正しい方向性を探究する事を目指し「ベクトル21」と命名しました

世界一危険な原発が、再稼働する!?!

かき消された 県知事選の争点

柏崎刈羽原発と福島第一原発の総出力比較
双方とも同型(沸騰水型軽水炉)

沸騰水型軽水炉 (BWR)	原子炉総熱出力	電気総出力
柏崎刈羽 原子力発電所 1～7号機	721.9万kW	821.2万kW
福島第一 原子力発電所 1～6号機	705.4万kW	469.6万kW

▲これを見ればいかに原発電力が不要であるか一目瞭然である

柏崎刈羽原発の公表されている主な事故等

2002年	・5号機のひび割れ隠し
2007年 7月	・中越沖地震発生2～4、7号機が自動停止 ・3号機の変圧器で火災発生 ・6号機から放射能を含む1.2m ³ の水漏れ(放射線量は9万ベクレルと推定) ・全号機建屋で使用済核燃料プール水等の溢水が発生し6号機以外のフロアに溜まる ・6号機建屋のクレーンで破損確認
2008年 12月	・放射性ゴミ放置
2009年 4月	・空調機過熱し出火
6月	・7号機の放射能漏れ
9月	・2号機の配管にひび
2010年 12月	・3号機で制御棒が誤作動
2012年 2月	・5号機建屋で煙
2014年 6月	・6号機で制御棒が駆動装置から外れる
12月	・使用済み燃料集合体で2体の曲がり発覚
2016年 1月	・違反ケーブル2,500本発覚
3月	・新潟限定CMに批判強まる
4月	・7号機の放射性廃棄物建屋の蓄電池から煙
8月	・福島第一原発事故時のメルトダウン隠しを泉田知事に謝罪

※柏崎市が公表しているトラブル事案(稼働時から今年1月まで)は原子炉自動停止事案3件、通報対象トラブル事案44件、ごく軽度な通報事案63件となっている。

▲東京電力の自己申告だけでもこれだけのトラブル。どれだけ隠蔽があるかわかったものではない

争点を晒したし県民を誰だ!?

泉田裕彦新潟県知事が4選出馬を撤回した。マスコミの報ずるところによると、泉田県知事いわく、「新潟日報の執拗な報道で原発を争点とする、まともな議論が不可能になった」そうである。まさに泉田県知事の言う通りである。東京電力、新潟日報、桜井甚一、沢野修ら自民党県議による言いがかりのような追及によって見争点は外され、出馬断念となった。当研究所は、東京電力の福島第一原発および柏崎刈羽原発の事故や事故処理の経緯と、

新潟日報が狂ったような泉田タタキを行った経緯を洗い出し、本紙2面にて解説する。原発の安全は全く担保されていない。新潟の未来は本当に明るいのか!?

柏崎刈羽原発の事故履歴を見れば、中越沖地震時でさえ数多くのトラブルが発生している。これも「想定外」であったのか?

ここに至っては、新知事が再稼働にどう抗うのか、あるいは再稼働を推進するのか、大いに注目するところである。



▲県議会議員 桜井甚一



▲県議会議員 沢野修氏